

## 式辞

今日で51日間の短かった3学期が終了します。

さてあなたは、それぞれ中学1年生、2年生として、この1年間に振り返ってどうでしたか？充実していましたか？

充実したというのは、勉強だけではありません。

- ・登下校を含め「おはよう」「こんにちは」「さようなら」の挨拶を相手に伝わるようにしましたか？
- ・友人や先輩後輩との関係はうまくいきましたか？
- ・学級の係活動や生徒会活動を頑張りましたか？

他にも波の穂祭などの学校行事や普段の授業など、自分なりに今振り返ってみましょう。目を閉じてください。さあ、自分の1年間の通知票をつけてみましょう。5段階評価で自己評価します。校長先生が1～5の数字を言います。該当すると思う評価に挙手してください。目は閉じたままです。それでは、始めます。

来年の今頃、また通知票を自分でつける時に、1段階でも2段階でも上の評価になれるように、頑張ってもらいたいと思います。

そのためには、本校のスローガンにある「夢と自信」を持つことを意識して学校生活を送ってください。

夢をもつことで人は強くなれます。夢に向かって突き進むことで人として大きく成長します。

今年の卒業生29名は、自分の夢の一つである志望校に見事全員が合格し、新しい世界に羽ばたきます。合格した日に勿来二中に来た時の彼らの目は、「夢、希望、自信」に満ちあふれていました。1・2年生の皆さんにも満面の笑みと輝いた目をした卒業生と同じことを味わってほしいと思います。

新3年生になる2年生の皆さん、もうすぐ最上級生にな

り、憧れの志望校に合格するという夢に向かって、今から意欲を持って取り組んでください。

新2年生になる1年生の皆さん、もうすぐ新入生が入学してきます。そしてあなたたちは先輩になります。新入生の生徒達は、皆さんの姿勢を見て、中学校生活をイメージします。言葉だけで行動が伴わなければ、先輩とは言えません。新2年生の皆さんも明確な夢や目標をもって、中堅学年として成長してください。

校長先生はこれまで「失敗から学べ」と言ってきました。「失敗は恥ずかしいことではない。恥ずべきことは、そこから立ち上がらないこと」です。誰もが失敗をします。ただ、重要なことは、何かに前向きに挑戦して失敗することは、必ずその失敗が生きてきます。

しかし、何もしななかったり努力をしないで失敗することは、ただの怠けであり、そこに成長はありません。前向きに挑戦するからこそ、たとえ成功ではなく失敗したとしても、そこからスローガンにある自信が芽生えるのです。

明日から4月7日までの16日間の春休みを迎えます。そして4月8日には、27名の新入生が入学し、皆さんは先輩になります。新年度を迎え、新元号になるこの機会に、もう一度、今年度を振り返り、さらにワンランク成長した自分をイメージして「夢と自信を育む勿来二中」をさらに前進させましょう。

これを持って平成30年度修了式の式辞とします。

平成31年3月22日

勿来第二中学校長 若松 真一

